

活動計画書 / 活動実施計画書

団体名： 名駅東花車・船入地区まちづくりの会

1 都市マスとの関連性（A～H、1～3をそれぞれ選択して記入してください。）

- C-1 多様な課題を共有して連携と助け合いですすめる災害に強いまちづくり
F-2 これまでに形成された地域コミュニティや歴史資源を大切にしまちづくり

2 活動対象地域の概要

所在	名古屋市中村区名駅五丁目1番～23番
面積	約5.8ヘクタール（バンテリンドーム ナゴヤの1.2倍）
特性・資源	名古屋駅から徒歩圏内という利便性の高い立地であり、戦後に拡幅された幹線道路沿いには市街地改造事業によって建築された複合用途ビルがある一方、街路網が未整備の地域中央部には戸建て住宅や小規模共同住宅などが混在しています。地域内で行われる花車神明社祭（名駅山車揃え）では、3両の山車が揃って「からくり演技」の奉納が行われます。
現況・課題	区分所有建物である花車ビル3館は、完成から50年以上経過していて建物の維持管理・耐震性・権利者の複雑化などの課題があります。地域中央部は、地震による道路閉塞や木造建築物の防火対策など防災上の課題があります。また、住人・地権者・事業者・来訪者など様々な立場の方々の想いが多様であることや、地域内住人の減少により山車文化などの歴史資源を継承する担い手が不足しているという課題もあります。

3 団体の活動実績

※ 過去に地域まちづくりの助成を受けたことがある場合、その実績も含めて記入すること

令和2年度は、ホームページを開設し情報発信の基盤を作り、構想づくりをキックオフする為の勉強会を行いました。
令和3年度は、まち歩きや祭り文化を学ぶ地域交流イベントを開催し、構想づくりを進める勉強会と地域アンケート調査を実施しました。
令和4年度は、アンケート結果を掘り下げる勉強会や、人々が楽しく交流できるイベントとしてマルシェを開催しました。さらに、まちの将来像を参加者と共に考える勉強会を開催し、導き出された構想の理念・方針などを広く知っていただくための資料として、ビジョンシート「はなぐるまちづくり構想」を制作しホームページで公表しました。

4 助成を受けようとする活動の目的

着実に高まりつつある「まちづくりの機運」を地域連携の原動力として、前年度にまとめた「はなぐるまちづくり構想」を具現化していく為に、地域の現状や防災上の課題を専門的な見地をもって整理しバージョンアップした「高度な構想資料」を制作し、地域全体で課題解決を図っていくことを目的とします。

5 助成を受けようとする今年度の活動およびコンサルタントへの委託業務内容（役割分担）

<団体>

ソフト面の活動として「防災」を軸とした地域交流を深め、個別対話や話し合いなどを行い、関係者の意向の把握と情報収集に努めます。

地域住人や地権者などの想いを自主的にまとめた「はなぐるまちづくり構想」は、あくまで理念・方針ですので、その実現のために必要となる技術的、経済的、法律的な面の具体的な手法の検討にあたって、都市計画や建築の専門家であるコンサルタントに業務を委託します。

まちづくり団体としては、地域関係者の意向を汲み取っていく役割を重視し、対話会や地域交流イベント、地域住民等の代表者との意見交換、およびタイムリーな情報発信を行っていきます。そして、団体に集まってきた情報等を専門家や行政に届け、協議を行いながら、地域の特性や文化、歴史、環境に合った、この地域の明るい未来への“道しるべ”となるような構想づくりを進めます。

<コンサルタント>

ハード面の情報などを整理し、「高度な構想資料」を制作いただきます。予算は55万円。毎月の理事会等での協議を重ね、令和6年2月までの資料完成を目指します。

①防災上の課題と対策の整理

- ・まちづくりの会の検討範囲における防災上の課題整理
- ・課題に対する対策の提案

②まちづくり推進手法の検討

- ・全国のまちづくり事例の研究
- ・防災対策実現のための活用制度の研究

③まちづくり構想の更新

- ・①②を踏まえた、まちづくり構想のバージョンアップ
- ・新たなまちづくり構想の周知の支援

6 今年度の活動実施の際に協力・調整等が必要となる関係者等

- ① **名古屋市**・・・地域まちづくりの推進、都市計画に係る許認可、花車ビル三館の建設(市街地改造事業施行)の行政主体であり、構想づくりに向けて総合的な助言、指導、協力をいただき活動実施を図る考えです。
- ② **花車ビル三館の各管理組合**・・・経年に伴う修繕や建替の計画は本地域まちづくりに大きく関わりがあり、組合員も多いことから、三館の管理組合それぞれに組合会員として参加を要請し、連携を図っていく考えです。
- ③ **町内会(5団体)、子供会、新明学区**・・・構想づくりへ進める各ステップにおいて、地域コミュニティを構成する組織と相互に協力できる関係は重要であり、情報交換や調整を図りながら活動していく考えです。
- ④ **山車保存会**・・・構想づくりには、貴重な山車文化のこれからの継承・保存も重要なテーマと考えられるので、そのために当会が果たせる役割の観点から協力関係を築いていく考えです。

7 今年度の活動内容のスケジュール

年 月	活 動 内 容
適宜 毎月	地域住民や地域の代表者等との意見交換 コンサルタントとの協議、情報交換、専門的知識の学習 ①防災上の課題と対策の整理 (R5年5月～7月) ②まちづくり推進手法の検討 (R5年8月～10月) ③まちづくり構想の更新 (R5年11月～12月)
R5年7月11日(火)	会員総会 (今年度の活動内容の告知)
R5年10月	地域交流イベント
R6年2月	高度な構想資料の公表

8 (構想策定・事業化検討)の想定プロセスと(構想策定後・事業化実現まで)の展望

構想の策定までのプロセス

- 構想実現の為の手法を知る (コンサルタントへの委託、情報収集、行政連携)
- 構想計画の認知を図る (資料制作、HP や SNS 等での発信、勉強会開催)
- 地域内の合意を図る (権利者との個別対話、地域内での話し合い)

構想策定後の展望

- 当会が目標とするまちの姿は、『**誰をも受け入れる新しい時代の実りある街**』です。活動地域の広さはバンテリンドーム ナゴヤの1.2倍にあたる約5.8ヘクタールあり、広範囲かつ多面的な「はなぐるまちづくり構想」には、「前例がない」や「不可能だ」との声も聴かれますが、「まちづくりで“できる”がね！」の気持ちで活動を続けていきます。
- これまでに寄せられた「安心安全」への高い関心に応えるため、命を守る「防災」としての取り組みを強化し、『**新しい時代の災害に強いまちづくり**』を進めます。
- 多様な立場と多様な価値観が混在する中で、大きな声・小さな声の方のみならず、声なき声をお持ちの方にも配慮し、権利者・行政・コンサルタント等と連携しながら、種をまき花が咲いて地域魅力が向上するよう貢献して参ります。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、3ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。